



証券コード 5020

2024年8月9日

# ENEOSホールディングス 2024年度 第1四半期決算説明資料

決算ハイライト

P 2

バランスシートマネジメントの進捗

P 4

事業環境

P 6

2024年度 第1四半期決算 概況

P 9

参考情報

P 16

## 決算ハイライト

2024年度  
第1四半期  
実績

**営業利益**  
(在庫影響除き)

前年同期  
1,249 億円 ▶ **実績**  
**1,131** 億円

差異  
▲118 億円

[5月公表] 通期見通し  
4,000 億円

親会社の所有者に帰属する

**当期利益**  
(在庫影響除き)

674 億円 ▶ **552** 億円

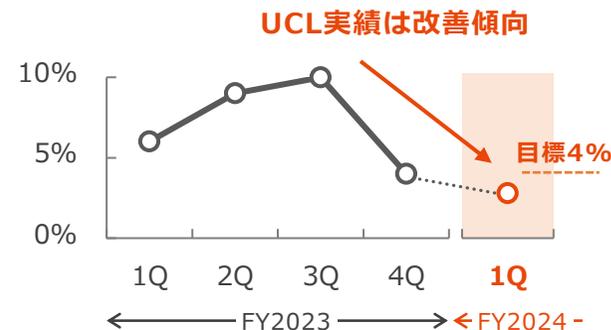
▲122 億円

2,100 億円

## ■ 在庫影響除き営業利益

- ✓ 金属事業のカセロネス売却に伴う23年度一過性利益の反転を除き、概ね前年並み
- ✓ 製油所トラブルは、補修費の拡充による検査加速や非定常時のオペレーション管理強化等により改善傾向

UCL (計画外停止の割合)



2024年度  
通期見通し

## ■ 5月公表を据え置き

- ✓ 年度計画に対し概ね順調に進捗していることを勘案

## バランスシートマネジメントの進捗

## 資産効率に基づいた保有資産・事業の見直しを進めるとともに、最適資本構成・資本コスト低減を追求し、バランスシート全体を最適化

### 資産効率向上の取り組み

#### 2022年度以前より継続

- ◆ ノンコア事業の切り離し、政策保有株式の売却

#### 2023年度

- ◆ 金属 : カセロネス銅鉱山運営会社の株式51%譲渡  
: パンパシフィック・銅（株）の株式20%譲渡  
: ロス・ペランプレス銅鉱山権益の3.27%譲渡
- ◆ 石油製品ほか : 横浜製造所跡地、大阪ガスターミナル跡地の売却
- ◆ その他（NIPPO） : 賃貸不動産等の売却

#### 2024年度

- ◆ 金属
  - ・ カセロネス銅鉱山運営会社の株式19%を追加譲渡
    - ・ 当社保有持分は49%から30%まで低下
    - ・ 需要拡大が見込まれる半導体材料分野へ経営資源を集中
- ◆ 石油製品ほか
  - ・ 海運事業の一部譲渡を決定
    - ・ 船価高騰による投資負担増や環境規制の強化等の課題に対応するため、ベストオーナーへの譲渡を決定

#### ◆ ノンコア事業の切り離し

石炭事業撤退、英国E&P事業売却、低効率資産売却他

#### ◆ 政策保有株式の推移



### Debt・Equityマネジメントの取り組み

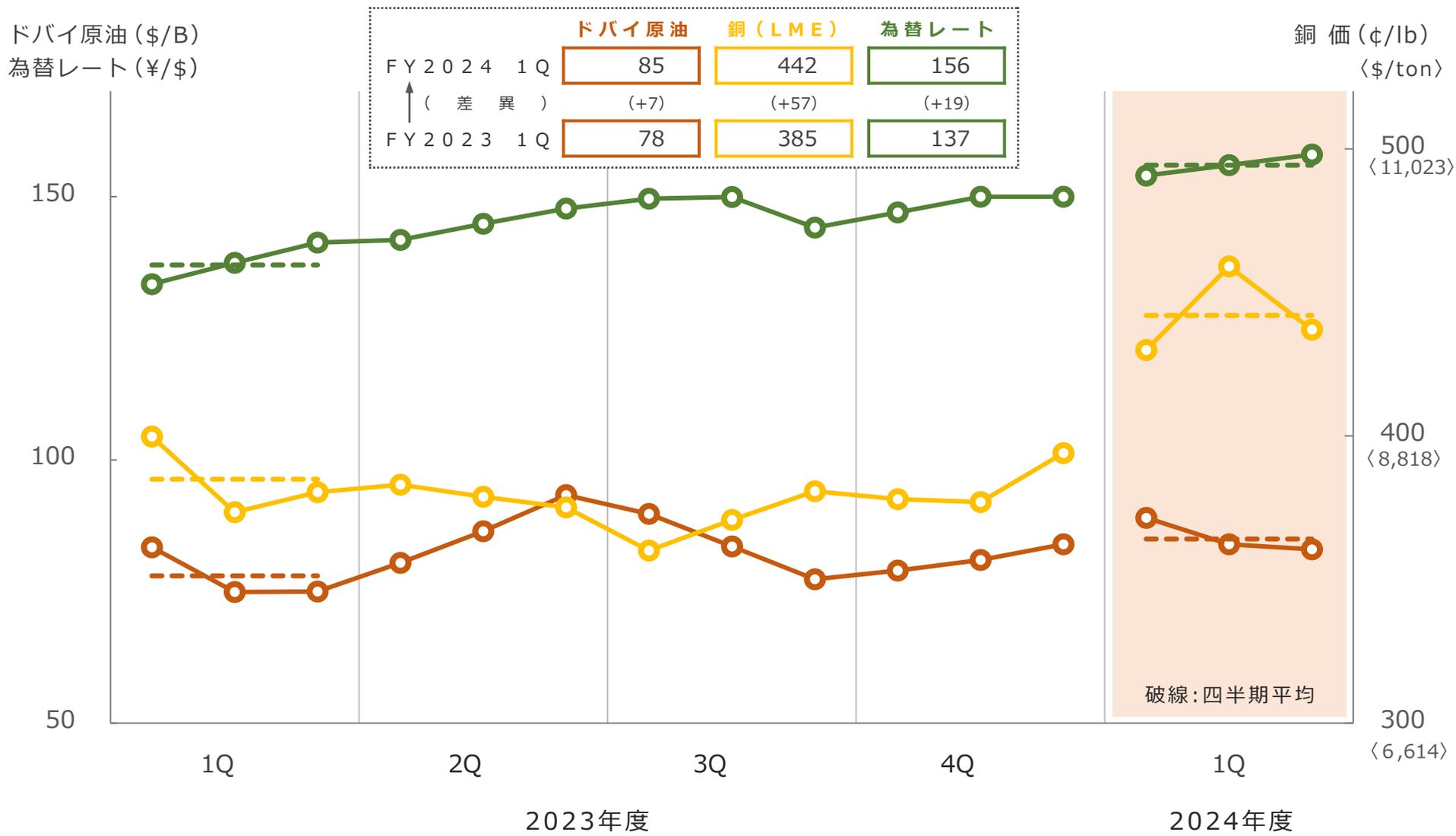
#### 2023年度

- ・ ハイブリッド債1,000億円追加発行（累計4,000億円）
- ・ トランジション・リンク・ローンによる600億円の資金調達を実行（サステナブル・ファイナンス累計2,600億円）

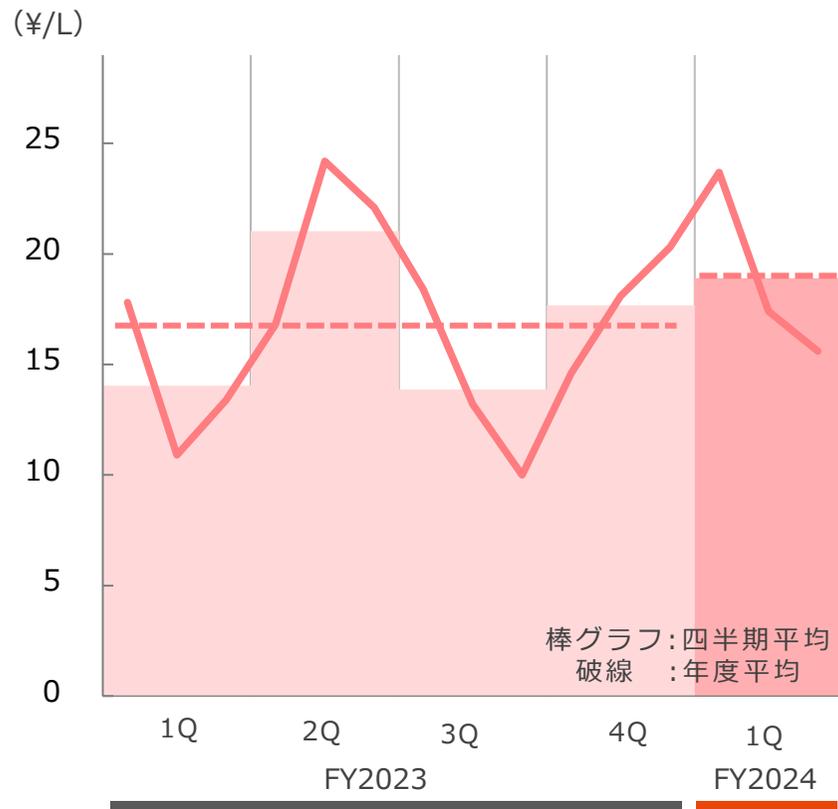
#### 2023～2024年度

- ・ 資本効率の向上、中長期の企業価値の最大化の観点から2023～2024年度累計で**2,500億円の自社株式取得**を決定（1Q 490億円）

## 事業環境

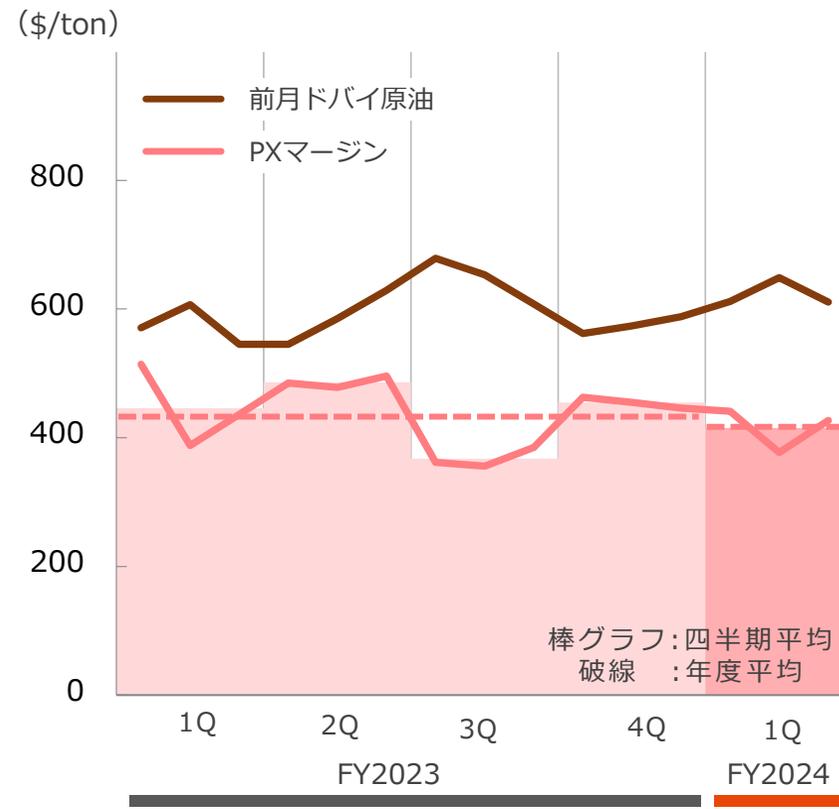


## 白油4品マーゼン指標<sup>1</sup>



1) 国内市況の参考値として、以下の計算式により算出  
 スポット価格 - 全国通関原油CIF (石油税・金利含み)

## パラキシレン(PX)マーゼン指標<sup>2</sup>



2) アジア市況の参考値として、以下の計算式により算出  
 ACP (Asian Contract Price) - 前月ドバイ原油  
 未決の月はスポット価格の平均値を使用

※これらの指標は当社のマーゼン (当社売価 - 当社コスト) とは異なります

# 2024年度 第1四半期決算 概況

(2024年4月1日～2024年6月30日)

	FY2023 1Q 実績	FY2024 1Q 実績	差異	
ドバイ原油 (\$/B)	78	85	+7	+9%
銅 (LME) (¢/lb)	385	442	+57	+15%
為替レート (¥/\$)	137	156	+19	+14%
<hr/>				
売上高 (億円)	32,183	31,663	▲520	▲2%
営業利益 (億円)	940	1,508	+568	+60%
(在庫影響) (億円)	▲309	377	+686	-
金融損益 (億円)	▲61	▲46	+15	-
税引前利益 (億円)	879	1,462	+583	+66%
親会社所有者に帰属する 当期利益 (億円)	458	816	+358	+78%
<hr/>				
■ 在庫影響除き				
営業利益 (億円)	1,249	1,131	▲118	▲9%
親会社所有者に帰属する 当期利益 (億円)	674	552	▲122	▲18%

		FY2023 1Q 実績	→	FY2024 1Q 実績	差異	
(億円)						
在庫影響除き営業利益 計		1,249		1,131	▲118	▲9%
セグメント別	石油製品ほか	109		776	+667	+612%
	在庫影響	▲309		377	+686	—
	在庫影響除き営業利益	418		399	▲19	▲5%
	機 能 材	26		66	+40	+154%
	電 気	45		93	+48	+107%
	再生可能エネルギー	12		7	▲5	▲42%
	石油・天然ガス開発	259		228	▲31	▲12%
	金 属	401		249	▲152	▲38%
	半 導 体 材 料	46		80	+34	+74%
	情 報 通 信 材 料	26		50	+24	+92%
	基 礎 材 料	339		164	▲175	▲52%
	事業共通費用等	▲10		▲45	▲35	—
そ の 他	88		89	+1	+1%	

※24年4月の分社化に伴うセグメント変更にあわせて、旧エネルギー事業の23年度実績を新セグメントベースに組み替えています

## 石油製品ほか 在庫影響除き営業利益

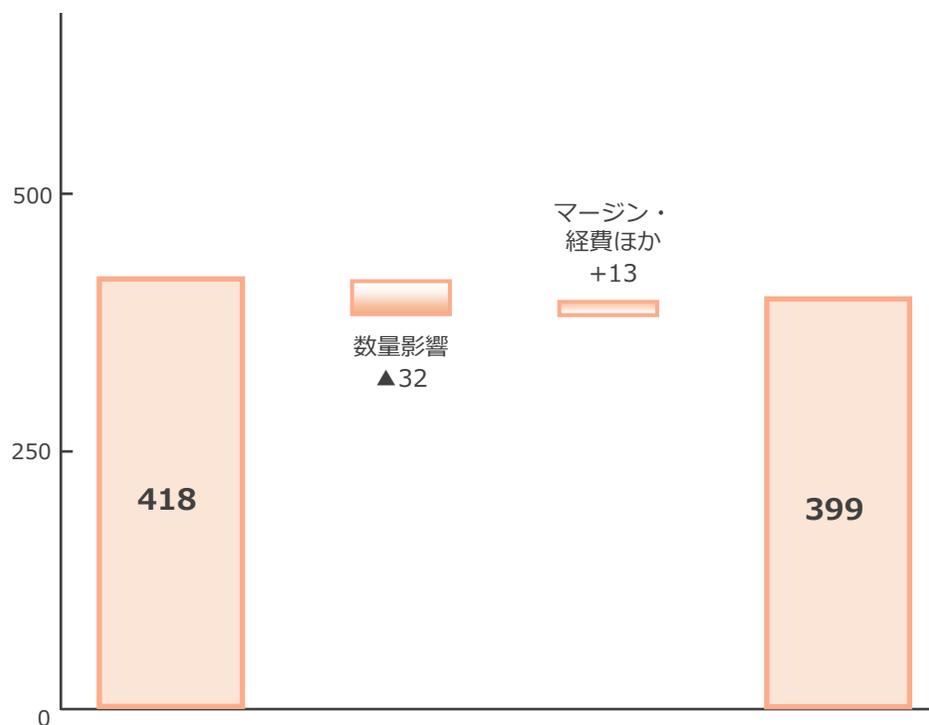
白油マージンの良化はあるものの、大型製油所の定修工事等による輸出数量減、原油代上昇による燃費悪化等により概ね前年並の水準

FY2023  
1Q 実績

▲19

FY2024  
1Q 実績

(億円)



## 機能材 営業利益

12

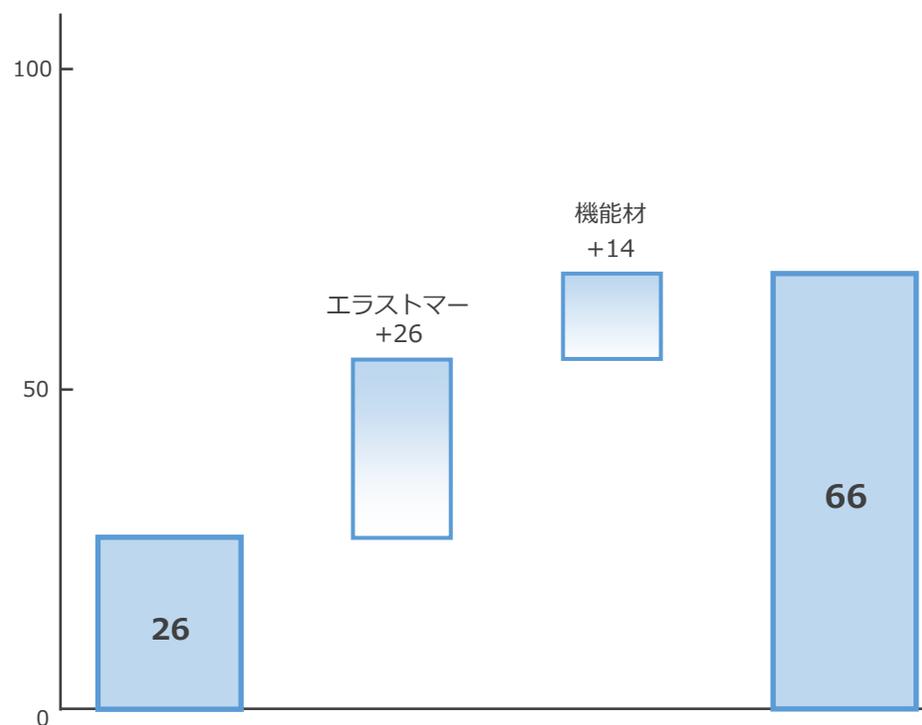
エラストマーは増販とブタジエン市況高騰や円安によるマージン良化により損益は改善  
機能材もサプライチェーン上の在庫正常化等に伴い増益

FY2023  
1Q 実績

+40

FY2024  
1Q 実績

(億円)

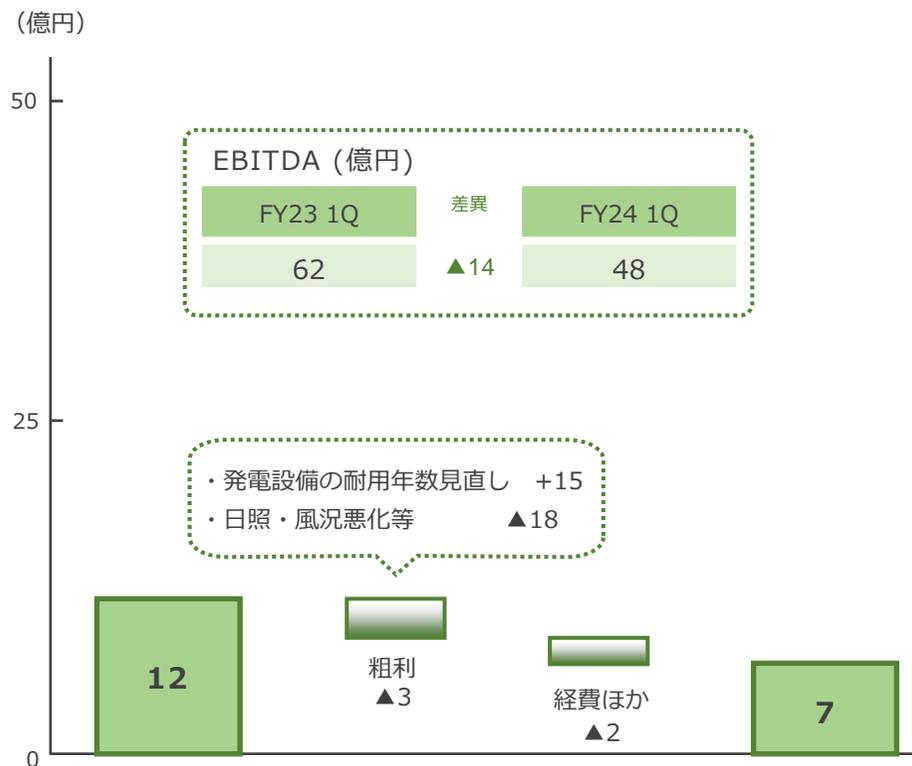
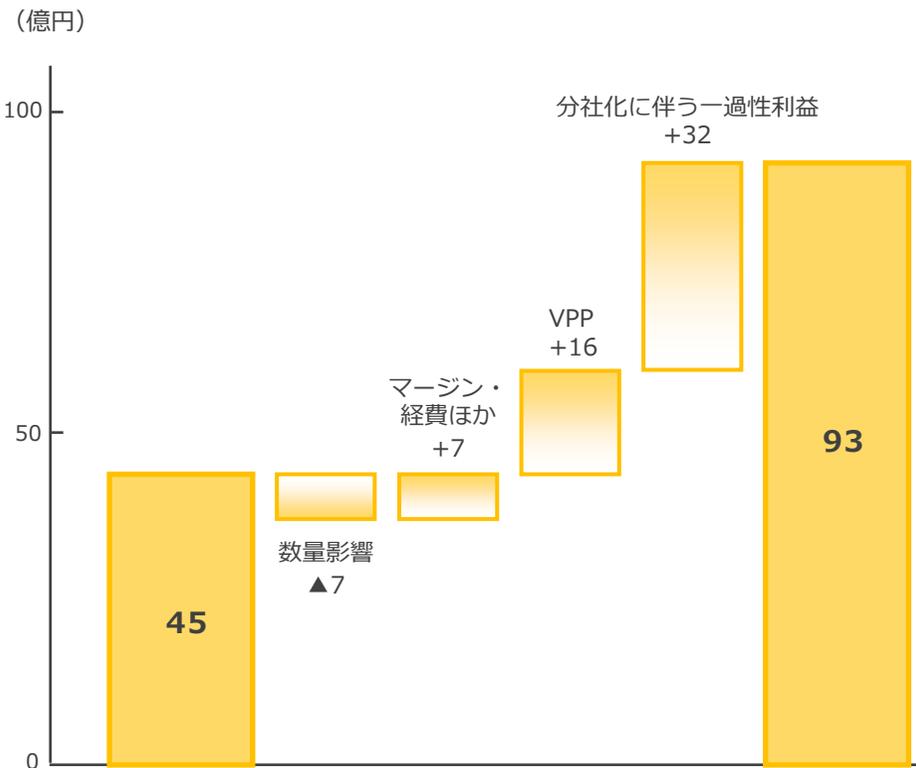


販売数量は減少した一方、販売マージンは良化  
VPP事業における需給調整市場への参入、分社化に伴う  
一過性利益により増益

発電設備の耐用年数見直しによる良化はあるものの、  
日照・風況悪化、設備トラブル等により減益

FY2023 1Q 実績 ➔ +48 ➔ FY2024 1Q 実績

FY2023 1Q 実績 ➔ ▲5 ➔ FY2024 1Q 実績

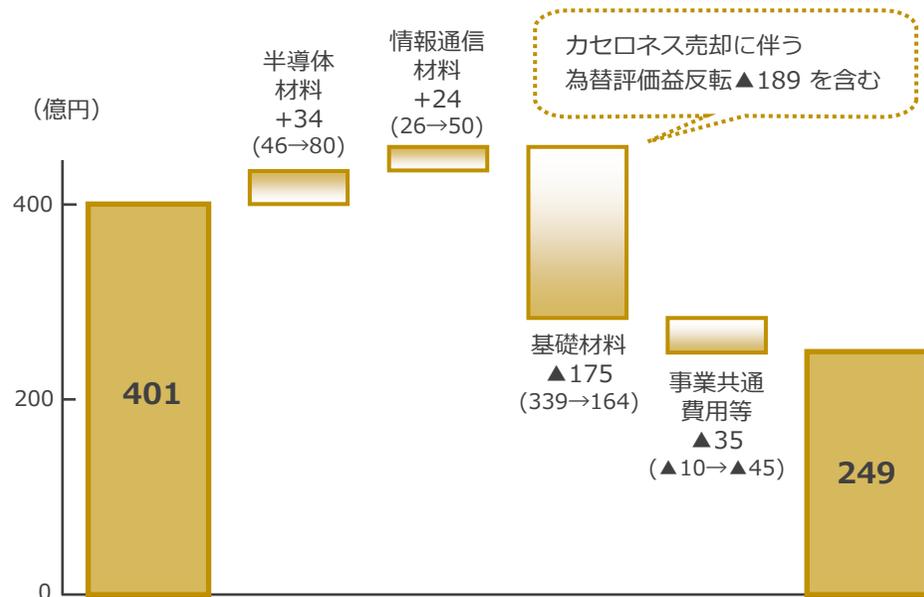
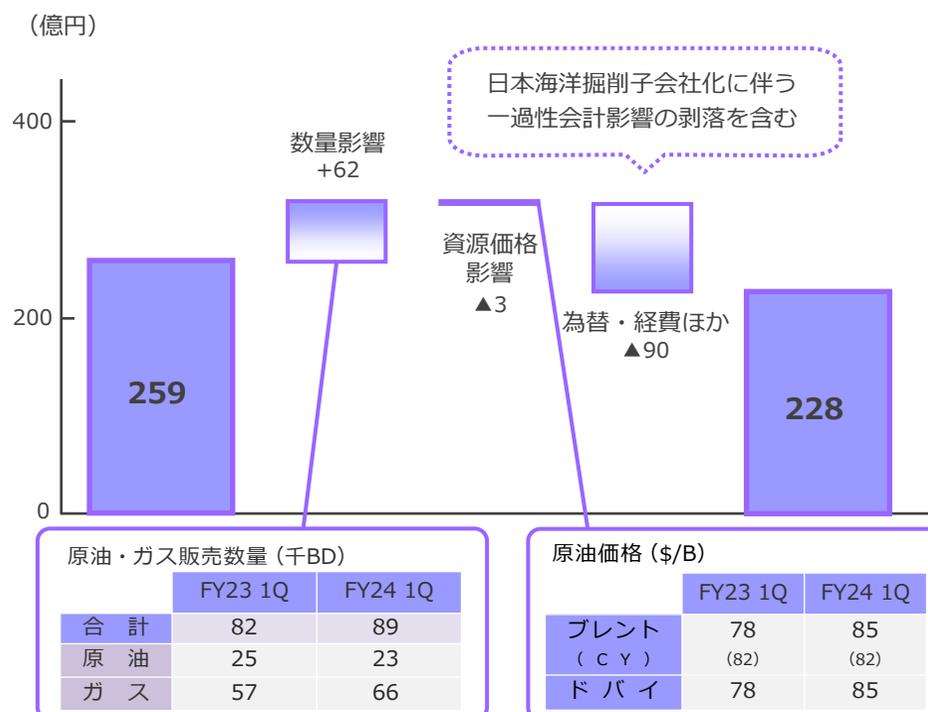


既存ガス田拡張プロジェクト稼働による数量増の一方、23年度に計上した日本海洋掘削子会社化に伴う一過性会計影響の剥落、経費増等により減益

半導体材料および情報通信材料での増販、円安や銅価上昇による増益はあったものの、23年度に計上した一過性利益の反転を主因に減益

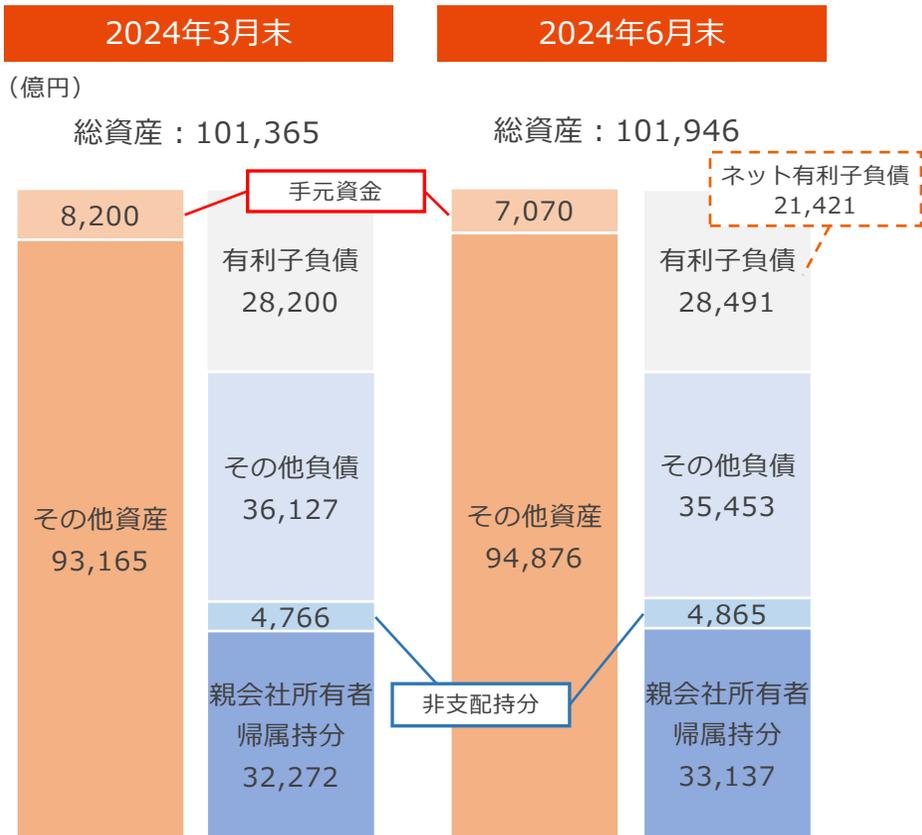
FY2023 1Q 実績 ➤ 31 ➡ FY2024 1Q 実績

FY2023 1Q 実績 ➤ 152 ➡ FY2024 1Q 実績



## 連結バランスシート

## 連結キャッシュフロー



	FY2024 1Q	
	IFRS第16号 「リース」適用除き	財務会計ベース
営業利益 (在庫影響除き)	1,131	1,131
減価償却費	679	888
その他 (運転資金・支払税金等) <sup>1</sup>	▲1,382	▲1,382
営業キャッシュフロー	428	637
設備投資	▲725	▲725
その他	▲335	▲335
投資キャッシュフロー	▲1,060	▲1,060
フリーキャッシュフロー	▲632	▲423
配当他 <sup>2</sup>	▲988	▲1,197
ネットキャッシュフロー	▲1,620	▲1,620

	2024年3月末	2024年6月末
親会社所有者帰属持分比率	31.8%	32.5%
ネットD/Eレシオ -ハイブリッド債 資本性調整後-	0.46	0.49

- 1) 冬場に向けた在庫積み増し、原油代上昇、法人税支払等によるマイナス
- 2) 自社株式取得費用▲490億円を含む

## 参考情報

		FY2023		FY2024		
		1Q	通期	1Q	通期	
		実績	実績	実績	見通し (5月公表)	
共通	為替レート	(円 / ドル)	137	145	156	145
石油製品ほか	ドバイ原油	(ドル / バレル)	78	82	85	80
	白油販売数量	(万キロリットル)	1,040	4,529	1,007	4,496
機能材	エラストマー販売指数 *	(%)	102	101	106	106
電気	卸電力市場価格 (JEPX)	(円 / kWh)	8.6	10.7	10.0	-
石油・天然ガス開発	原油換算販売数量	(千バレル / 日)	82	88	89	96
	ブレント原油	(ドル / バレル)	78	82	85	81
金属	銅 (LME)	(セント / ポンド)	385	379	442	380
	精密圧延品生産品販売量	(千トン / 月)	2.2	2.3	2.7	2.8

\* )2022年度の販売数量 (通期・1Q) を基準 (100%) として、相対的に算定した指数

## ■ 諸元の変動による2024年度営業利益への影響額（2024年4月以降）

		(億円)	
項目	変動幅	変動項目	影響額
ドバイ原油	5\$/B 上昇	石油製品ほか	(-) 40
		石油・天然ガス開発	(+) 80
		小計	(+) 40
		在庫影響	(+) 470
		合計	(+) 510
銅 (LME)	10¢/lb 上昇	金属	(+) 20
		合計	(+) 20
為替レート	5¥/\$ 円安	石油製品ほか	(+) 40
		機能材	(+) 5
		石油・天然ガス開発	(+) 40
		金属	(+) 30
		小計	(+) 115
		在庫影響	(+) 250
合計	(+) 365		

本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、  
実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。

かかる要因としては、

- (1) マクロ経済の状況またはエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化
- (2) 法律の改正や規制の強化
- (3) 訴訟等のリスク

などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。